

名物駅弁、給食に登場



大館市御成町の花膳が製造販売する名物駅弁「鶏めし弁当」が、市内の小中学校の給食で提供されている。

地元への愛着を育んでもらおうと、花膳が2013年度から毎年提供している。

今年は市内の27校に、学校給食用を計4441食提供。3月中旬までに各校で1回ずつ振る舞われる。

提供初日の1月30日は、4校の給食に登場。このうち比内中学校では、花膳の八木橋秀一社長が1947年から鶏めし弁当を売り始めたことなどを紹介した後、生徒たちが給食と一緒に弁当を味わった。=写真。

1年の武田樹さんは「甘辛いご飯と卵のそぼろ、やわらかい鶏肉の組み合わせがおいしい。毎年楽しみにしている」と笑顔。弁当誕生から79年。子どもたちにもなじみの味になっているようだった。(伊藤康仁)

(令和8年2月2日(月) 秋田さきがけ新聞「ふきのとう」から一部抜粋)